

家庭教育学級(三松サークル) 報告書

令和4年度開級式及び人権講座

日時：令和4年7月15日（金）19：00 ～ 20：30

場所：外国語室

講師：校長 衛藤 慎二 先生（代行：教頭 濱崎 かおり先生）

演題：「自分」も大切、「相手」も大切、「みんな」大切！

教頭先生の講話

開級式に合わせて、校長先生が人権について作成した資料をもとに教頭先生の講話を親子で聞きました。

「人権」というと、とても深く難しい印象ですが、画像や動画を交えながら子供にも分かりやすく話していただきました。物事の視点や考え方によってプラスにもマイナスにも変わる事や、自分を好きになることで相手を想いやることができる等大切な事を学ばせていただきました。



教頭 濱崎 かおり先生

活動写真や受講者の感想



- 自分を大切にし、認めることで人を大切にできるということを改めて学び、言葉の発し方の大切さを痛感させられました。言葉の一つ一つがとても鋭い武器になる事を日々胸に留めていかなければと思います。
- 肯定形を使うことで自分の言い方だけでなく、相手の受け取り方が変わってくる。特に子どもに対して、意欲やモチベーションも良い方向に変化してくれと感じました。自尊感情を持ってプラスの言葉を意識して使っていこうと思います。
- 『メッセージは肯定形で』胸に強く刺さりました。いつも否定形で子育てをしている自分に反省でした…。見方一つで考え方や物事が180度変わるという事を改めて考えさせられました。自分を大切に思うことで相手も事も大切にできる事を子供なりに学んだようです。親子で考える機会を与えて頂き感謝です。

- 人権というとても難しく考えていましたが、毎日の生活の中での声かけも「今後こうしていこう」と改めて考えることができました。同じ意味でも言葉の使い方ひとつで受取り方も変わりますね。
- 子どもに対する接し方や、物事の考え方など改めて考えてみようと思いました。気持ちが落ち込んだ時こそプラス思考になれる努力をしたいと思います。
- 仕事上でも人権に関わる声かけが必要なので「なるほどな！」と思いながら聞きました。
- 自分が良かれと思っても相手には傷つく言葉があるという事を今回の講話で教わりました。自分を好きでいると相手にも優しく対応でき、ネガティブではなくポジティブでいれる事も考えさせられました。
- 子ども達にもお話して下さった内容だったので家に帰って共通意識で話し合えそうです。このような機会がないとなかなかできないので聞いて良かったです。
- 子どもにも分かりやすく、親子で見ると一緒に考えることができ良いきっかけになるなと思いました。私達の子供時代と違い、小学生のうちからインターネットと関わることが多いこの世の中で多様なじめもあるので親子で学び考えていく事は大切だと思います。
- 自分事として考える事が大切ですね。肯定文をどんどん使います。
- 否定的な言葉より肯定的な言葉で話すだけでポジティブになれるので子どもとの会話も注意して使っていこうと思います。考えると否定的な言葉をよく使っているので反省です。